発的な挑戦から成る輝ける人財 能な地域の実現と市民と共につ る地域貢献できる人づくり 組織活性室 同志交流と発 戦と未来への組織体制の拡充 士創造室 育成▼未来開発室 持続可 刀を高め公益性ある団体にふ 新たなステージの 人財育成室

スローガン 輝かがや) 気(き) 来を~ 切り拓こうこの倉敷まちの

き」まちが輝く活力ある倉敷の 【基本理念無限の可能性を信じ 果敢に挑戦しよう「ひと」が輝



-成30年7月豪雨

災害支援について

と考えます。

て存在する意味がある てはならない団体とし

地域において常に「輝 創立65周年を迎 えるにあたって

き」を放つことが、

「明るい豊かな社会の

たちの運動が活動する おります。その中で私 に日々運動を展開して る我がまち倉敷のため 念を胸に、現在も愛す け継がれた高い志と信 対応しながら脈々と受 変化する時代の流れに でまいりました。常に 会議所運動に力を注い 敷の発展に向けて青年 を目指し、我がまち倉 い豊かな社会の実現」 は設立当初より「明る 私たち倉敷青年会議所 とをも意味します。 象徴的な存在であるこ あり、周囲を牽引する るさをもたらす希望で

を継続してまいりま 目指して災害支援活動 日も早い復旧・復興を

謝の念を表すとともに、 数々の功績に敬意と感 築き上げてきた活動と た。これまで長きに渡り を展開してまいりまし 造に向けて様々な運動 明るい豊かな倉敷の創 に創立されて以来、英知 議所として1956年 国で80番目の青年会 と勇気と情熱をもって、 倉敷青年会議所は全 むでしょう。 て全体をその光で包み込 気持ちが輝き、気持ちが輝 ねます。輝きを求める者は いと日々の練習を積み重 ルを目標に誰にも負けま く者は周囲を輝かせ、やが

目の年に今までの歩み に即した運動を見出す を検証し、今一度、時代 創立65周年という節 限の可能性を信じて果敢 現するために、私たちは無 が輝く、活力ある倉敷を実 拓いてまいります。 **倉敷**(まち)の未来を切り 概と覚悟を持って新たな せ、一人ひとりが光輝く気 に挑戦し、相集い力を合わ 「ひと」が輝き、「まち

行こうじゃないか」 足なみをそろえて

半成30年7月豪雨災 大な被害をもたらした

て取り組んできた内容

我がまち倉敷にも甚

ことが重要であると考

輝くJC

明るい希望

えます。その時々におい









が我がまち倉敷になく 方向性を示すことこそ をもたらし、進むべき らす人々に希望や誇り き」となり、地域に暮 議所自体が地域の「輝 おります。倉敷青年会 可欠であると確信して 実現」のために必要不









る舞台を求め、光輝くメダ 言えます。選手たちは輝け 動の根幹と同じであると する上での青年会議所運 るい豊かな社会の実現」を 青年会議所が追求する「明 掲げており、これらは正に







いう3つのコンセプトを

敏に応え、被災前の輝

される支援ニーズに俊

に寄り添い、今必要と

さ続き被災された方々

きを取り戻すべく、























害から1年以上が経過

は違えども、

小学校、県内外の青年 福祉協議会や避難先の 害発生翌日から、社会 倉敷青年会議所では災 被災地の復旧・復興は 余儀なくされるなど、 先からの遠距離通学を れ、子どもたちも避難 宅等での生活を強いら た方々の多くが仮設住 域においては被災され 害の大きかった真備地 まだまだ道半ばです。 した今もなお、最も被 たなステージへと導きま ことで倉敷青年会議所を新 たちの想いを胸に時代に即 来に繋がるはずです。先人 存在し、私たちの活動の未 や伝統の中には必ず地域の 未来を描くヒントが数多く した運動を考え常に進化 新たな価値を創造する

として古来より多く用

い換えれば、人々に明 いられてきました。言 を明るく照らすもので て「輝き」とは、周り

私たち日本人におい はじめに

あり、他には無いまぶ

しく力強いものの表現

結びに

げよう(未来への継承)」と 和)」・「そして、未来につな スト)」・「一人ひとりが互 会が開催される感動の年 ピック・パラリンピック大 りに東京2020オリン いを認め合い(多様性と調 「すべての人が自己ベス になります。この大会は、 を目指し(全員が自己べ 本年は日本で56年ぶ

興事業といった様々な 支援から人的支援、復 会議所と連携し、緊急

きました。本年度も引 災害支援活動を行って



組織活性室 理事委員長 雄介 龍本



がにうどの倉敷の未

組織活性室 専務理事 英弘 合田



未来開発室 常任理事室長 守屋 亮佑





未来開発室 副理事長 内田 雌介



人財育成室 副理事長 木村 @ 悟



人財育成室 常任理事室長 佳奈



組織活性室 常務理事 宗田



、財育成室 青少年育成委員会 理事委員長 諏訪



65周年特別委員会

岡田体制を支える15理事を一挙解説



榊原 浩太郎



人財育成室 会員研修委員会



未来開発室 地域開発委員会



未来開発室 人間力向上委員会 理事委員長



動

指

組織活性室 小川 忠司



出向理事



倉敷青年会議所はSDGsを推進しております

倉敷 I C広報案内

★毎月第1木曜日14:30~14:40頃 エフエムくらしきにて「くら・ラジ! | 絶賛放送中! (HP にて過去の放送分 をお聞きいただけます。

★4月より KCT にて「くら・プレ!」 放送予定!乞うご期待!!

公益社団法人 倉敷青年会議所 SDGs 宣言 宣言文



倉敷JC SDGs宣言

公益社団法人倉敷青年会議所は、地域社会の発展を考えた活 動・運動の推進を通じて、持続可能で豊かな社会を目指した SDGs (持続可能な開発目標)達成に向け、取り組むことを ここに宣言します。

- SDGsの理念に沿った活動・運動を行います。
- ・次世代の担い手を育成するための多様な教育機会の提供・拡充に努めます。
- ・地域の子どもや大人、企業、NOPO、NGOなどのステークホルダーへのSDGsの 理念の普及に努めます。
- ・環境保全や美しい環境の創造に取り組む人材を育成するとともに、環境負荷の低減に取 り組むことに努めます
- ・地域全体で持続可能な社会の実現に向けたパートナーシップの活性化に努めます。